



令和5年1月4日
午後1時00分発表

広報資料

問い合わせ先

釧路海上保安部

次長 坂本 敬司

TEL 0154-21-5575

令和4年における海難の発生状況について（速報値）

～船舶海難は増加、人身海難は減少～

令和4年の釧路海上保安部管内^{*1}における船舶海難及び人身海難の発生状況について、速報値をとりまとめましたのでお知らせします。

令和4年の船舶海難の総数は9隻、人身海難の総数は12人でした。

前年に比べ、船舶海難は2隻増加し、人身海難は2人減少しました。

1 船舶海難^{*2}の発生状況 【別紙1、2参照】

昨年の船舶海難の総数は9隻で、前年に比べ2隻増加となりました。

なお、内訳は次のとおりであり、衝突、火災などの船舶海難による死者・行方不明者の発生はありませんでした。

(1) 船舶種類別の内訳は、

貨物船	2隻（前年に比べ1隻増）
タンカー	1隻（前年に比べ増減なし）
漁船	5隻（前年に比べ2隻増）
遊漁船	1隻（前年に比べ1隻増）

となっており、船舶海難の半数以上が小型船舶^{*3}となっています。

(2) 海難種類別の内訳は、

衝突	2隻（前年に比べ2隻増）
<u>単独衝突</u> ^{*4}	1隻（前年に比べ1隻減）

*1 釧路海上保安部管内の速報値には、広尾海上保安署管内にて発生した海難は含まれません。

*2 海上における船舶の衝突、転覆、乗揚、浸水、爆発、火災、行方不明、機関・推進器・舵等の損傷又は故障、その他運航不能等が該当します。

*3 総トン数20トン未満の船舶。

*4 船舶が単独で物件（岸壁、防波堤、漂流物等）に接触し、船舶又は物件に損害を生じたものが該当します。

転覆	1隻（前年に比べ1隻増）
火災	1隻（前年に比べ1隻増）
運航不能 ^{*5}	4隻（前年に比べ1隻増）

となりました。

(3) 海難の原因は、

ア 衝突	見張り不十分
イ 単独衝突	操船不適切
ウ 転覆	荒天準備不良
エ 火災	原因不明
オ 運航不能	老朽衰耗

となっており、海難原因の半数が**人的要因**となっています。

2 人身海難の発生状況 【別紙3参照】

海上での人身海難の総数は12人で、前年に比べ2人減少となりました。

(1) 船舶海難によらない乗船者の人身海難^{*6}は、5人（前年に比べ増減なし）となりました。

海難の内訳は、

海中転落	1人 [漁船員1人]（前年に比べ1人増）
負傷	3人 [漁船員3人]（前年に比べ増減なし）
中毒	1人 [作業員1人]（前年に比べ1人増）

となっております。

乗船者の人身海難者数は平成30年から減少傾向にはありますが、依然として、人的要因による海難が発生しています。

(2) 海浜事故^{*7}は7人（前年に比べ2人減）となっており、その内訳は次のとおりです。

- ア マリンレジャーによる事故者数は0人（前年に比べ1人減）
※ 今年は3年ぶりに海難の発生がありませんでした。
- イ マリンレジャー以外の事故者数は7人（前年に比べ1人減）
うち死者・行方不明者数は5人（前年に比べ1人増）
内訳）自殺4人（死者4人）（前年に比べ増減なし（死者2人増））
海中転落3人（死者1人）（前年に比べ1人減（死者1人減））

3 海難防止への取り組み

昨年²⁰²⁰年の海難防止活動にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底

*5 機関故障、推進器障害、舵障害、燃料欠乏、無人漂流等が該当します。

*6 衝突、乗揚、転覆等の船舶海難以外の事由により発生した船舶の乗船者の海中転落、負傷、病気等が該当します。

*7 海浜事故は「マリンレジャーに伴う海浜事故」と「マリンレジャー以外の海浜事故」があります。

「マリンレジャーに伴う海浜事故」とは、遊泳中や釣り中などマリンレジャー中の事故、「マリンレジャー以外の海浜事故」とは、岸壁等からの海中転落や自殺等が該当します。

し、漁船や関係団体等への訪船・訪問指導、他機関と連携した安全推進啓発等の活動に積極的に取り組んだ結果、前年より船舶海難においては大幅な増加を抑止し、人身海難においては減少しました。

しかしながら、依然として人為的ミスが要因で発生した船舶海難や人身海難が後を絶たないことから、釧路海上保安部では、次の指導事項を重点に、引き続き関係機関や団体と連携し、釧路管内の港を入出港する船舶に対し各種海難防止活動を推進して事故の減少に努めていくこととします。

指導事項

(1) 船舶海難防止事項

- ①常時見張りの徹底（衝突・乗揚防止のため）
- ②発航前点検の励行（運航不能防止のため）
- ③気象・海象情報の把握と適切な判断（転覆・浸水防止のため）

(2) 人身海難防止事項

- ①船内作業中における意思疎通の徹底
- ②ライフジャケットの常時着用、連絡手段の確保
- ③複数人行動の励行
- ④気象・海象情報の常時把握

(添付資料)

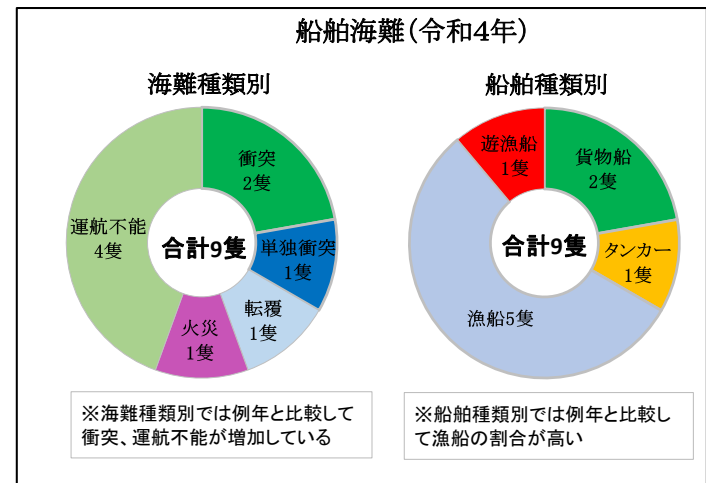
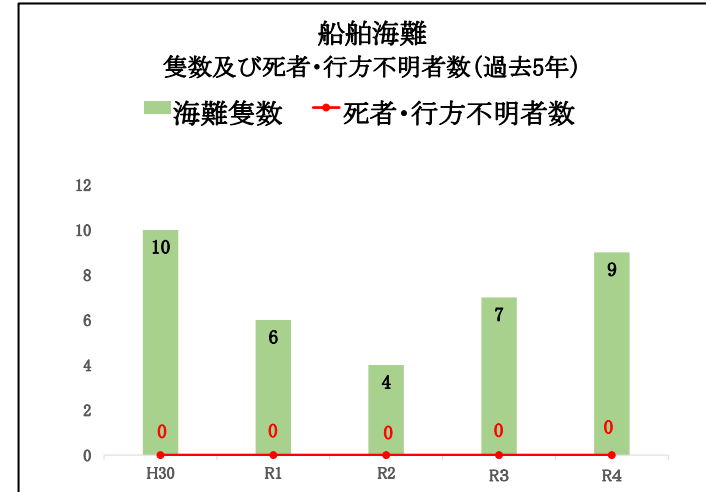
- 別紙1 「過去5年船舶海難発生状況」
- 別紙2 「令和4年船舶海難発生状況（詳細）」
- 別紙3 「過去5年人身海難発生状況」

過去5年船舶海難発生状況

釧路海上保安部

区分	船舶海難(隻)										死者・行方不明者(人)
	衝突	単独衝突	乗揚	転覆	浸水	火災	爆発	運航不能	その他	合計	
平成30年	6	0	0	0	1	1	0	2	0	10	0
令和元年	0	1	0	1	0	2	0	2	0	6	0
令和2年	0	0	2	0	0	0	0	2	0	4	0
令和3年	0	2	1	0	1	0	0	3	0	7	0
令和4年	2	1	0	1	0	1	0	4	0	9	0

※ 令和4年分は「速報値」であり、今後、増減することがあります。



令和4年船舶海難発生状況(詳細)

釧路海上保安部

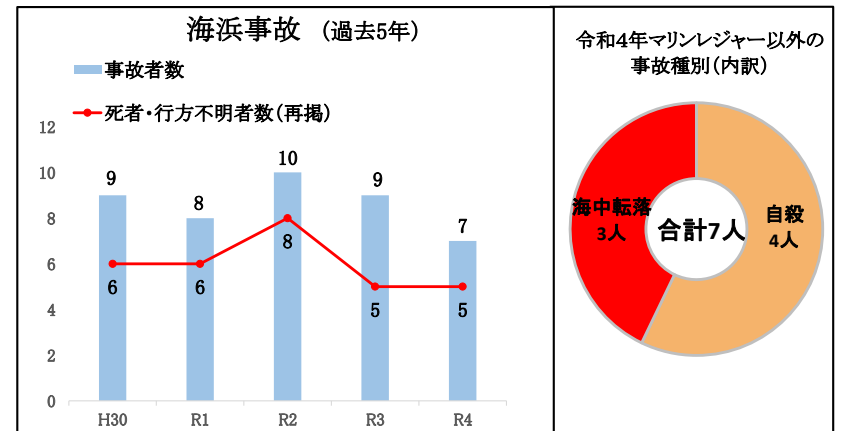
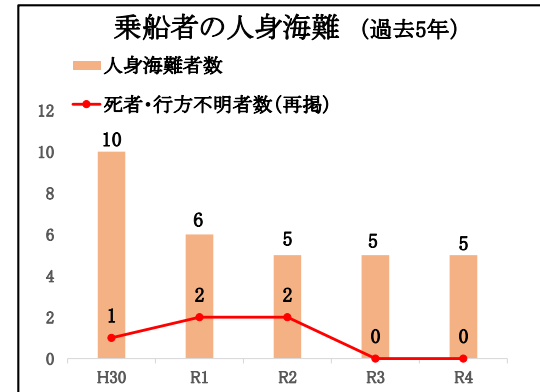
船舶海難(隻)											
船舶種類	海難種類 衝突	単独衝突	乗揚	転覆	浸水	火災	爆発	運航不能	その他	合計	死者・行方不明者 (人)
貨物船	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)
タンカー	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
旅客船	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
作業船	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)
漁船	2 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	5 (3)	0 (0)
遊漁船	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
プレジャーボート	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)
合計	2 (0)	1 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	4 (3)	0 (0)	9 (7)	0 (0)
死者・行方不明者数(人)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	

注1:上段の数字は令和4年の速報値。下段()内は令和3年の確定値です。
 注2:船舶種類の「その他」は、練習船、監視取締船、軍艦等です。
 注3:船舶種類のプレジャーボートは、レクリエーションに用いられるモーターボート、ヨット等です。
 注4:海難種類の「運航不能」は、機関故障、推進器障害、舵障害、燃料欠乏、無人漂流等です。
 注5:海難種類の「その他」は、船体行方不明、船位喪失等です。
 注6:死者・行方不明者は、船舶海難に伴う乗船者の死者又は行方不明者です。
 注7:海難隻数は速報値であり、今後、増減することがあります。

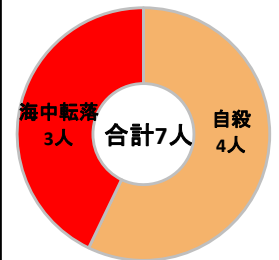
過去5年人身海難発生状況

釧路海上保安部

区分	乗船者の人身海難（人）					海浜事故（人）		
	海中転落	負傷	病気	中毒	合計	マリネレジャー	マリネレジャー以外	合計
平成30年	0 (0)	9 (1)	1 (0)	0 (0)	10 (1)	0 (0)	9 (6)	9 (6)
令和元年	1 (1)	2 (1)	3 (0)	0 (0)	6 (2)	1 (0)	7 (6)	8 (6)
令和2年	1 (1)	2 (0)	2 (1)	0 (0)	5 (2)	1 (0)	9 (8)	10 (8)
令和3年	0 (0)	3 (0)	2 (0)	0 (0)	5 (0)	1 (1)	8 (4)	9 (5)
令和4年	1 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (0)	0 (0)	7 (5)	7 (5)



令和4年マリネレジャー以外の事故種別(内訳)



※（ ）内は、死者又は行方不明者数
 ※ 令和4年分は確定されるまでは「速報値」であり、今後、増減することがあります。